

平成30年7月18日 第45号
発行：東京二十三区清掃一部事務組合
編集：総務部総務課
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号
TEL 03(6238)0613~5 FAX 03(6238)0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

一般廃棄物処理基本計画を改定します

●一般廃棄物処理基本計画

清掃一組の一般廃棄物処理基本計画（以下「基本計画」という。）は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、23区の一般廃棄物の中間処理について定めるもので、国の「ごみ処理基本計画策定指針」に沿って概ね5年ごとに改定することとしています。

平成27年2月の基本計画改定以降、国は平成30年度中に「第四次循環型社会形成推進基本計画」の策定を予定しており、循環型社会形成に向けた中長期的な方向性に関する指標に新たな目標を設定し、廃棄物の適正処理の更なる推進を目指しています。

また、東京都では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据え、東京の活力を維持・発展させていくため、『東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針』を策定するとともに、その方針を具現化する計画として、平成28年3月に「東京都資源循環・廃棄物処理計画」を策定しました。

こうした国や東京都の廃棄物処理に係る取組や社会環境の変化を踏まえ、現行基本計画から5年となる平成31年度を目途に基本計画を改定することとしました。

●検討組織

基本計画の改定にあたっては、23区との連携を図るとともに、最終処分や広域的な視点からの意見も踏まえて検討を行うために、一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会（以下「改定検討委員会」という。）を設置し、その下に特定事項を調査検討するための一般廃棄物処理基本計画改定検討委員会ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置します。



改定検討委員会（13名）	23区清掃主管部長（8名）、東京都環境局関係部長（1名）、 清掃一組関係部長（4名）
ワーキンググループ（14名）	23区清掃主管課長（8名）、東京都環境局関係課長（1名）、 清掃一組関係課長（5名）

●基本計画の改定スケジュール（予定）

- ・平成30年5月＝改定検討委員会設置
- ・平成31年3月頃＝中間報告の取りまとめ
- ・平成31年8月頃＝基本計画（原案）の取りまとめ
- ・平成32年1月頃＝基本計画（最終案）の取りまとめ

●改定検討委員会の開催予定及び傍聴方法

改定検討委員会は、原則公開としています。今後、開催する改定検討委員会の開催日時、傍聴方法などは、清掃一組ホームページでお知らせします。

※一般廃棄物処理基本計画の改定に関する詳しい内容は、清掃一組ホームページに掲載しています。

◎総務部企画室 電話03（6238）0624

東京二十三区清掃一部事務組合議会 正副議長 監査委員が決まりました

平成30年第2回東京二十三区清掃一部事務組合議会定例会は、6月26日（火曜日）に開かれました。この定例会では、議長・副議長選挙、常任委員の選任を行いました。

議長には、大熊昌巳氏（杉並区議会議長）、副議長には、丸山高司氏（渋谷区議会議長）が当選しました。議員選出の監査委員には、河野純之佐氏（台東区議会議長）が選任同意されました。



大熊昌巳氏



丸山高司氏



河野純之佐氏

また、常任委員会を開き、総務・事業委員会委員長には、三井みほこ氏（世田谷区議会議長）、副委員長には、佐藤信夫氏（江東区議会議長）、財務委員会委員長には、磯一昭氏（豊島区議会議長）、副委員長には、松本佳子氏（千代田区議会議長）、運営委員会委員長には、名取頭一氏（文京区議会議長）、副委員長には、大野はるひこ氏（板橋区議会議長）がそれぞれ選出されました。

東京二十三区清掃一部事務組合議会

東京二十三区清掃一部事務組合議会は、23区の議会の議長23人により構成されています。年4回（2月、6月、9月、12月）の定例会と必要に応じて開催される臨時会で予算や条例などについて審議、決定しており、傍聴することもできます。

◎議会事務局 電話03（5210）9729

清掃一組議会が青森県八戸市内セメント工場現地視察を行いました

清掃工場で可燃ごみを焼却処理すると、主灰と飛灰が発生します。熔融処理によりスラグ化するものを除いた主灰と薬剤処理した飛灰は、東京都が設置・管理する新海面処分場で埋立処分しています。しかし、今後、新たに東京港内に最終処分場を確保することは極めて困難です。

清掃一組では埋立処分量の削減及び資源の有効利用を目的として、平成25年度から主灰のセメント原料化について実証確認を行ってきました。この結果、安全で安定的に実施することが確認されたことから、平成27年度から本格実施しています。

平成30年4月19日（木曜日）、清掃一組議会が、青森県八戸市内のセメント工場を視察しました。

今回の視察は、主灰のセメント原料化施設であるセメント工場や、セメントの原料となる石灰石採掘現場の調査を目的に行われました。

視察団は、まず、八戸市議会を表敬訪問しました。八戸市議会からは、市議会の概要などの説明があり、意見交換を行いました。

次に港頭一般焼却灰選別保管庫へ向かいました。ここでは、清掃一組（大田清掃工場）から排出された主灰の搬入状況などを確認しました。

引き続き、セメント工場へ移動し、セメント会社から、会社の歴史、環境に対する取組、搬入された主灰の活用などの説明を受け、予熱装置や焼成炉等を視察し、セメントの需要量や清掃一組の主灰の性状等について意見交換を行いました。



翌日、4月20日（金曜日）には、セメントの原料となる石灰石の採掘会社へ向かいました。採掘会社では、会社の概要、施設の状況などの説明を受けた後、実際の採掘場などの視察を行いました。

◎議会事務局 電話03（5210）9729

東京二十三区清掃一部事務組合議会報告

◆平成30年第1回臨時会（平成30年3月19日開催）

○議案

番号	件名	概要	結果
議案 7	東京二十三区清掃一部事務組合職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	国や他団体との制度的均衡及び情勢適応の原則の観点等を踏まえ、23区と同様に条例の改正を行う。	可決

議案 8	中央清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 4億3,200万0,000円 相手方 日立造船株式会社	可決
議案 9	多摩川清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 5億7,628万8,000円 相手方 株式会社IHI環境エンジニアリング	可決
議案 10	豊島清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 3億6,342万0,000円 相手方 株式会社IHI環境エンジニアリング	可決
議案 11	葛飾清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 5億8,860万0,000円 相手方 株式会社タクマ	可決

○報告

番号	件名	概要
報告 1	専決処分した事件の報告について	目黒清掃工場建替工事請負契約について、土壌汚染詳細調査の実施及び汚染土壌の場外搬出処分に伴う契約金額の変更 契約金額 515億6,099万2,800円 変更後の契約金額 516億3,706万8,000円 増減額 7,607万5,200円 相手方 JFEエンジ・清水建設特定建設工事共同企業体

◆平成30年第2回定例会（平成30年6月26日開催）

○議案

番号	件名	概要	結果
議案 12	東京二十三区清掃一部事務組合監査委員の選任同意について	河野 純之佐 氏（台東区議会議長）	同意
議案 13	東京二十三区清掃一部事務組合監査委員の選任同意について	山本 亨 氏（墨田区長）	同意
議案 14	港清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 4億3,848万0,000円 相手方 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社	可決
議案 15	品川清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 4億7,390万4,000円 相手方 日立造船株式会社	可決
議案 16	世田谷清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 7億740万0,000円 相手方 川崎重工業株式会社	可決
議案 17	板橋清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 7億9,920万0,000円 相手方 住友重機械エンバイロメント株式会社	可決
議案 18	新江東清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 10億4,760万0,000円 相手方 株式会社タクマ	可決

閉会中の継続調査

1. 運営委員会 ・ 議会の運営連絡等について

◎議会事務局 電話03（5210）9729

印刷物登録

平成30年度 第32号